

「問い」を発する思考を大切に！



経済学部長 内山 哲朗

これからの学業生活を通じて、変化の激しい世界の動向と正面から向き合う有為な人材へと育ててほしいと心より願っています。そのためにも、「何を、どう学ぶか」を考え続ける皆さんの4年間のプロセスを、私たち教員と共有できるようにと経済学部では準備を進めています。

Love&Passion for Justice!



法学部長 白藤 博行

親愛なる新入生諸君！さあ学問の扉を開きましょう。学問には、なにより学友が大切です。いま隣で講義を聴く彼や彼女が、一生の友になるかもしれない。一緒に新しいことを学びましょう。目を輝かせて奇跡を発見しましょう。大胆かつ細心に、「読む、書く、聞く、話す」の努力をしましょう。

能動的に考える専大人への招待



経営学部長 蔡 芒錫

これから皆さんと大学生活を共に歩んでいけると思うだけでも心が躍ります。私たち教職員一同は、在学中皆さんを全面的にサポートしていきます。ただ、皆さんにも2点ほど、お願いがあります。まず、話しかけられるのをただ待つのではなく、自ら積極的に話しかける人、自分の意見をきちんと伝える人になってください。

目標や課題に挑戦し続けよう



商学部長 渡辺 達朗

新入生の皆さん、ようこそ商学部へ。夢や希望をいっぱい抱えて入学してきたひと、なんとなく入学してきたひとなど、いまの思いはさまざまでしょう。しかし、何かの縁があって商学部に入學してきたのですから、講義やゼミナール、あるいはサークルで出会う教員や同級生、先輩と過ごす時間を大切に、それらを通じて、自らの目標や課題を見出してください。

徳は孤ならず、必ず隣あり



文学部長 廣瀬 玲子

ご入学おめでとうございます。大学に通い始めたばかりのこの時期、何がどこにあるかもわからず、見知らぬ場所に一人ぼつねんと立っているような不安に駆られることもあるでしょう。でも、大丈夫。それはみんな同じです。皆さんに『論語』の「徳不孤、必有隣(徳は孤ならず、必ず隣あり)」という言葉を贈りたいと思います。徳のある人は決して一人ぼつちではない、きっと隣に寄りそってくれる人がいる、という意味です。

アクティブ・ラーニングの学部



ネットワーク情報学部長 江原 淳

入学おめでとうございます。ネットワーク情報学部はさまざまなバックグラウンドの学生がいる文理融合型の学部です。情報システムを構築できる技術力は、目的を実現できるように情報に形を与える情報デザイン力と、それを企画しチームとして実現するコミュニケーション力が備わって初めて社会で意味を持ちます。まだないものを創造する演習、協調活動で達成する成果、それらを学内外で発表する機会。本学部はアクティブ・ラーニングが基本ですから授業以外にもクラウドやスマホ環境を活用して学び合うことも大切。皆さん自身が主人公の学部なのです。

実習と実験が教育の柱



人間科学部長 山上 精次

新入生の皆さん、ようこそ人間科学部へ！大学での学習は、いろいろな意味で高校までの勉強と異なる点がありますが、人間科学部では両学科とも初年度から「実習」や「実験」が教育の柱になっており、調査や実験によって自分の力で集めたデータを科学的に分析し結果を導き出すこと、つまりものごとを実証的に理解するための考え方や技法を学習します。

キャリアの扉を開いて



経済学研究科長 遠山 浩

専修大学大学院へようこそ。今日の社会にはさまざまな課題が山積し、また出現する経済現象も複雑になっていきます。それゆえ、知的専門性を高め対処することはたいへん重要です。大学院入学にあたり抱かれた「志」を忘れずに、学位を取得するため十分に研究時間を確保し、研究を通じて論理的思考力を磨き、さらに専門的な発表能力を高めてください。

大学院で学ぶとは？



法学研究科長 小川 浩三

大学院に入学、進学おめでとうございます。理系と違って人文・社会系の大学院は進学者も少なく、なかなかイメージできないかと思いますが、少人数の授業(1対1の場合もあります)で、その内容も、徹底して掘り下げたものになります。学部で習ったから当然わかっている、ということは通用しません。学部生なら疑わないで前提にしてきたことについて、教員から質問されます。

課題を設定し通説に挑戦



文学研究科長 飯尾 秀幸

大学院入学おめでとうございます。学部時代を学問の入り口とすれば、大学院では、いよいよ学問の真の中心に入り込むこととなります。卒業論文を作成する過程で学問の楽しさや醍醐味を体験して、大学院進学を決意した方もいらっしゃるでしょう。もちろん論文の作成は孤独な作業で、苦しさも感じたりでしょう。しかし完成した時の達成感には格別なものがあったはずですよ。

良き環境で大いに議論を



経営学研究科長 大曾根 匡

経営学研究科にご入学おめでとうございます。いよいよ研究者としてのスタートですね。学会で研究成果を発表するという目標を立てて、研究を進めてほしいと思います。ただ、研究は作業と違い、努力しても成果の出ないこともあります。そのようなときに頼りになるのが教員や院生仲間です。異なる分野の人と議論することは、研究を深化させ、新しい研究の切り口の発見にもつながります。

実り多き大学院生活を



商学研究科長 建部 宏明

大学院ご入学おめでとうございます。大学院は修士課程が2年間、博士後期課程が3年間の修了年限ですから、皆さんが経験してきた教育課程のなかでも短い部類に入るのではないのでしょうか。また、大学院は単位取得のみならず、学位請求論文を提出して合格しないと、修了にはなりません。教員の指示を待たないで、何でも始めませんか。

温かい心を持つ法律家に



法科大学院長 佐野 裕志

法科大学院入学おめでとうございます。法科大学院は修了後の目標が明確に定まっていますので、これからの2年ないし3年間、将来を見据え、勉学に励んでください。法律家は、法学についてのプロであることは当然ですが、人の持つ不幸を正面から受け止める職業です。そのためには法学についての総合的な理解や法律家として必要な技法を身に付けるとともに、人の痛みがわかる温かい心を持たなければなりません。これらを学ぶためのカリキュラムも人的・物的支援も整っています。入学後も、初心を忘れることなく、将来に向けての意欲を持ち続け、緊張感のある充実した毎日を過ごしてください。

学部長・大学院研究科長・法科大学院長からの歓迎メッセージ